

# 第9回、映画上映会のお知らせ！

## タイトル：劔岳・点の記

### 兼2月弘明寺サロン

日時：2017年2月18日(土) 13:30~17:00

会場：放送大学神奈川学習センター 第8講義室

上映前30分の間に「山に関する歌+学歌」を合唱します  
上映後場所を移して「弘明寺サロン」を開催します

#### 解説

新田次郎の同名小説を浅野忠信をはじめ、名優たちの共演で映画化したドラマ。日本地図完成のため、誰も登頂に成功したことのなかった危険な山、劔岳に挑んだ男たちの姿を描く。



**入場無料 事前申し込み不要**  
**どなたでも参加できます、直接会場にお越し下さい**

主催：放送大学神奈川同窓会

担当：放送大学神奈川同窓会 映画研究同好会 寺村 紀美夫、柳澤 明男、大野 貴司、古本 教子

## 映画のストーリー

明治39年。日露戦争を終えた陸軍は、国防のため日本地図の完成を急いでいた。最後の空白地点である雪山・剣岳への初登頂と測量は、陸軍参謀本部の測量手である柴崎芳太郎（浅野忠信）に任された。立山連峰に屹立する剣岳は、多くの優秀な測量部員にも未踏峰なほどの険しさで知られていた。しかし、ここでの測量を終えなければ、日本地図は未完成のままである。一方、創設から間もない日本山岳会の小島（仲村トオル）らは、ヨーロッパ製の最新道具を備えて、剣岳への初登頂の名誉を狙っていた。民間に先駆けられることは、国家の威信に賭けても避けねばならない。重い使命を背負った柴崎は、妻の葉津よ（宮崎あおい）から励まされながら、案内人の宇治長次郎（香川照之）と前人未到の剣岳へと調査に向かう。そこで出会ったのは、行者（夏八木勲）だった。「雪を背負って登り、雪を背負って降りよ」という彼の謎の言葉だけを胸に、登頂への手掛かりすら掴めないまま柴崎たちは下山した。翌年、測夫の生田信（松田龍平）ら7名とともに測量本番の登山へ向かう柴崎たち。しかし、立山連峰の過酷な雪と暴風雨、そして雪崩は、柴崎たちの行く手を厳しく阻む。絶望的な状況の中、前任の測量手である古田盛作（役所広司）からの手紙も苦悩する柴崎の心の慰めとなった。日本山岳会の小島たちも、剣岳の困難さ身をもって体験して、あらためて柴崎への敬意を深める。自分たちは登ることが目的でも、彼らは登ってからが仕事なのだ。もういちど仲間たちと連帯し、そびえ立つ剣岳に柴崎たちは挑む。そこでヒントになったのは、いつかの行者の言葉だった。ようやく頂上へと到達できた柴崎は、地図づくりの測量を果たすことに成功した。しかし、そこで彼が目にしたのは、古代の行者が残っていた痕跡だった。剣岳に初登頂したのは柴崎ではなく、彼らだったのだ。柴崎の複雑な感慨も、無言のまま山は包み込む。

### スタッフ

監督：木村大作

脚本：木村大作、菊池淳夫、宮村敏正

原作：新田次郎

### キャスト

柴崎芳太郎 浅野忠信

宇治長次郎 香川照之

生田信 松田龍平

小島烏水 仲村トオル

柴崎葉津よ 宮崎あおい

大久保徳昭 笹野高史

岡田佐吉 石橋蓮司

矢口誠一郎 國村隼

行者 夏八木勲

古田盛作 役所広司

第33回日本アカデミー賞

最優秀監督賞（木村大作）

最優秀助演男優賞（香川照之）

最優秀音楽賞（池辺晋一郎）

最優秀撮影賞（木村大作）

最優秀照明賞（川辺隆之）

最優秀録音賞（石寺健一）

優秀作品賞

優秀脚本賞（木村大作、菊池淳夫、宮村敏正）

優秀主演男優賞（浅野忠信）

優秀美術賞（福澤勝広、若松孝市）

優秀編集賞（板垣恵一）

上映の前の演奏曲名（山に関する歌+学歌を合唱）

1. 雪山讃歌
2. アルプス1万尺
3. 青い山脈
4. 山のロザリア他
5. 学歌

最後にはNHK放映『にほん百名山（剣岳）』となります